

質問に対する回答について  
工事名) 磐越自動車道 束松トンネル工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	設計関係図書 特記仕様書 32 頁 設計図 トンネル 23/141 吹付けコンクリート工 吹付けコンクリート A ( t = 1 5 c m ) K の D II - a ( H ) - A F S - K について、はね返し係数は、補助ベンチ付全断面工法の『1.24』でしょうか。ベンチカット工法、上半部の『1.25』でしょうか。ご教示をお願いいたします。また、両方の数値でない場合には、このパターンのはね返し係数をご教示お願いいたします。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
2	設計関係図書 設計図 トンネル 21/141～31/141 20250528 質問に対する回答についての『6』では、本工事は、土木工事積算基準(令和6年度)を適用するとのことご回答でした。土木工事積算基準(令和6年度)では、鏡吹付けコンクリートが C II パターン (3cm) と D パターン (5cm) でそれぞれ計上されると思われますが、本工事設計図の支保パターン図では、D II -a(H)-AFS-K パターンを除いて、鏡吹付けコンクリートの図示・記載(面積・厚さ)がございません。本工事の場合、設計図のとおり計上されているのでしょうか。それとも土木工事積算基準(令和6年度)のとおり計上されているのでしょうか。ご教示をお願いいたします。	令和7年5月14日掲載の「質問に対する回答について④」質問番号2に対する回答の通りとなります。

3	<p>設計関係図書 割掛対象表参考内訳書 3 頁 基準試験 B について、試し練り-1 回、実機試験-1 回の合計 2 回との理解で良いでしょうか。ご教示をお願いいたします。</p>	<p>割掛対象表参考内訳書の内容に関する質問にはお答えできません。</p>
4	<p>設計関係図書 割掛対象表参考内訳書 6 頁 換気設備費については、第 3 編―設計報告書(2 工区トンネル編)P1-8 (第 15 章施工設備計画) 3-5 頁に示されているとおり、送風機 2,000m<sup>3</sup>/min、集塵機 2,400m<sup>3</sup>/min で計上されているのでしょうか。ご教示をお願いいたします。</p>	<p>閲覧資料に関する質問にはお答えできません。</p>
5	<p>設計関係図書 割掛対象表参考内訳書 6 頁 工事用電力設備費について、責任分界点から坑口までの距離をご教示をお願いいたします。</p>	<p>割掛対象表参考内訳書の内容に関する質問にはお答えできません。</p>
6	<p>その他 全般 生コンクリートの単価は、NEXCO 東日本のホームページにある東北支社の単価[建設事業]会津若松(管)のうち、西会津地区の単価でしょうか。会津坂下地区の単価でしょうか。ご教示をお願いいたします。</p>	<p>入札公告2-19に記載のとおり、参考積算条件書を9月5日に掲載予定です。詳細は弊社HPをご確認ください。   <a href="https://www.e-nexco.co.jp/assets/pdf/bids/capacity/initiative_r06.pdf">https://www.e-nexco.co.jp/assets/pdf/bids/capacity/initiative_r06.pdf</a></p>

7	<p>設計関係図書 特記仕様書 24～26 頁 捨土掘削、構造物掘削の作業内容にて、土砂を自工区外盛土場 A へ運搬すると記載がありますが、敷均し等の記載がありません。自工区外盛土場 A での敷均し、締固め等の作業は本工事では実施しない認識でよろしいでしょうか。</p>	その通りとなります。
8	<p>設計関係図書 数量明細表 2 頁 設計図 本線 13～22/35 種吹付工種吹付 B（人工基材）の数量が「701.2m<sup>2</sup>」となっておりますが、設計図の横断図を基に数量を確認した結果、「716.6m<sup>2</sup>」となります。設計図と数量明細表のどちらが正しいかご教示願います。</p>	種吹付工 種吹付 B（人工基材）の数量は、数量明細表に記載の通りとなります。
9	<p>設計関係図書 特記仕様書 28 頁 設計図 軽沢橋 78、82/124 設計図_軽沢橋 78/124 の大型コンクリートブロック積み（練）材料表に示す「V アンカー筋」「差し筋」は本体工に計上でしょうか。それともコンクリート基礎工 E(F)、コンクリート基礎工 F(F)に計上でしょうか。ご教示願います。</p>	設計図 軽沢橋 78/124 軽沢橋（下り線）大型コンクリートブロック積工一般図(その2) 材料表に記載の通り、本体工に含まれます。
10	<p>設計関係図書 設計図 軽沢橋 83/124 設計図 トンネル 135、136/141 設計図 附帯工 11/29 コンクリートブロック積工において、設計図ではブロックサイズの記載がないため高さと幅のサイズが不明です。想定されていますコンクリートブロックのサイズについてご教示願います。</p>	特記仕様書 29-8 コンクリートブロック積工に記載の通りとなります。

1 1	<p>設計関係図書 設計図 軽沢橋 83/124</p> <p>足掛金物が記載されていますが、 こちらはコンクリートブロック積 工にて計上でよろしいでしょう か。ご教示願います。</p>	その通りとなります。
1 2	<p>設計関係図書 特記仕様書 31 頁 設計図 トンネル 44/141 設計図 参考図 8、18/45 参考図 8/45 にて、「D I -K2-H-S」 の加背割図の記載がありますが、 特記仕様書、設計図_トンネルに て、「D I -K2-H-S」の記載は無く、 「D I -K2-S」のみの記載となっ ております。「D I -K2-H-S」は上り線 側の避難連絡坑取合部を指してい るものと思われませんが、設計図_ト ンネル 44/141 の断面図では「D I -K2-H-S」の施工場所は別途工事施 工と記載があります。「D I -K2-H- S」の支保パターンは本工事の施工 対象外の認識でよろしいでしょう か。本工事で施工予定の場合は、ト ンネル掘削等の単価数量に影響し ますので、影響する各単価の正し い数量をご教示願います。</p>	<p>設計図 参考図 8/45 【参考図】加 背割図(8)に記載のD I -K2-H-Sは、 本工事の施工対象外です。 交付図書の一部に誤りがありまし たので後日訂正いたします。</p>
1 3	<p>設計関係図書 特記仕様書 30、34 頁 特記仕様書 34 頁にて、インバート 埋戻し工に購入材を使用すると記 載がありますが、早期閉合部にお ける一次インバート埋戻しにおい ても購入材を使用予定でしょう か。</p>	貴社の施工計画に基づきお考えく ださい。

1 4	<p>設計関係図書 設計図 トンネル 63 頁</p> <p>「通話型通報設備（非常電話）」の箱抜工について、「DⅢa (H) -C-RC2-K」の補強工ロックボルト本数に「6.0m*3 本」と記載がありますが、正しくは「4.0m*3 本」ではないでしょうか。単価数量に影響するため、どちらが正しいかご教示願います。</p>	<p>補強工 ロックボルトの本数について、正しくは4.0m*3本 となります。</p> <p>交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。</p>
-----	--	---